

# みなしご通信



## 咬みつき犬に必ず理由あり

2020年、犬の最後の引き取りは神奈川県咬みつきゴールデンレトリバーです。仔犬の時に避妊手術も済ませ7歳まで問題なくきたのに今年の春ごろから飼い主さんを咬むようになってんだそう。実は10年ほど前から人間にフレンドリーな犬種であるハズのゴールデンRも《乱繁殖》のせいで咬む子が増えてきています。大型犬に咬まれると病院行きになるのは当



たり前。そうになると咬んだ犬は殺処分対象になります。そんな不幸を呼ぶ前に大型犬の繁殖には厳しい規制をかけるべきです。大型犬は1回の出産で多くの仔犬を産みますし「大型犬の繁殖」と聞くだけで私なんかはゾッとするとするし腹も立つし。血統が読め正しいブリーダーイングができるブリーダーは日本にほぼ居ません。ほとんどが《犬飼い》が交配させてるだけのタチの悪い繁殖屋増殖屋です。咬みつきゴールデンちゃんも引き取った以上はこれからよくよく動きを観察しながらこの子に一番良い環境を与えみんな愛情深く育てていきたいと思えます。咬みつき犬に対する私たちの対応は十四色・千差万別。この子の場合はいきなりドクラン

ではなく当分はお散歩する感じにします。人間が大好きなレトリバー種だからこの子が心から《望んで》いることをする《それ以外は《やらない》頭の良いレトリバー種だから無理な《しつけ》は逆効果。そうそう1ヶ月ぐらい前に来た咬みつきシユナウザーはうちの者たちには普通に甘えていますけどあまり顔を見ることがない私なんかにはいまだに強烈で写真を撮ると興奮するから撮れません。



今から80日ぐらい前に来た咬みつき北海道犬のヨタロウは呼ぶと飛んで来て今やアイドル犬です♪うちの者たちはもうぜんぜん平気♪もともとヨタロウは知らない人に無理やりイヤなことをされたから...という咬む理由が明白な子なのでいつも優しくイヤがること

をしないうちの者たちを咬むはずないね♪この低いフェンスはヨタロウがうちの生活に慣れるまでの仮のモノ。慣れてくれたし取っ払おうと思ってます。

くんは顔立ちも穏やかになり話のよくわかるええ子になりました。ペット(愛玩おもちゃ)という言葉が大嫌いな私は人間の生活に密着して生きている犬や猫は伴侶動物だと思っっています。その考えから行くと犬



栃木拠点の咬みつき犬の中で一番怖かったのは甲斐くん！甲斐くんはデッカイです。今でもお水入れ(ホーロー鍋)をくわえてグルグル振り回して投げるゲームはやめません。そのため甲斐くん専用のお水入れは2つ用意していますけどちらもボコボコです(笑) 甲斐

を外飼いするとかNGでしょう。伴侶ですからね、室内飼養は常識です。

栃木拠点で一番咬んだ実績を持つマロ。柴犬は咬む子が多いです。それは柴犬ほど疎外感を感じる犬はい



ないのに避妊去勢もしないで外飼いするからです。マロはうちに来た当初4〜5人咬みましたがもううちに来て長いし、もしもの時用のリードも外しています。うちでは誰も咬まれていませんがまだまだ危ういあらたです。うちでは例えば誰かが咬まれてもすぐに引き離せるようにリードをつ





けたままにしています。あと一歩なんですけどね…まあ焦る必要もないしね♪

咬みつきおじいちゃん犬のさのまるです。おじいちゃんなのに…おばあちゃんなのに…ときかないお年寄り犬は福島にもいっぱいいました(笑)でもおじいちゃんだから動きも早くないしもしもの時のリードは最初から要りません。

犬が咬む時は★避妊去勢をしていない★庭につなぎっぱ★しつつけと称し変な訓練をする★知らない人が近づくと★イヤなことを飼い主がする★目の前で悪口を言う…などなど咬みたくなるような理由が必ずあります。

犬猫みなしご救援隊では元・咬みつき犬が穏やかに暮らしていくためにその子の顔色や動きをよく観察しながら

らイヤがることは絶対にしません。たまにしか居ない私は決して出しやばらず目の前で立ち止まってるぞき込んだりもしません。

### 光市でTNR

第2回山口光TNR一斉会場は前回同様林節子市議の倉庫。と言ってもお米の倉庫だった場所で、広くて清潔です。佐賀でも熊本でも水俣でもそくだったように、TNRが進むと猫の状況が上がるんですよ！不妊手術&ワクチン接種&ブラケットのお蔭でいろんなストレスから解放される猫が増えるとTNR待機の猫たちの生活の質も上がるので。



山口県でのTNR一斉はまだ始めたばかりだし、やはり全般的に猫の状態が悪いですね…。《正しい》猫の生活について教える事ができる獣医やボランティアがいなくて野良猫たちの中では近親交配が広がり、野良猫はどんどん状態を崩していき、無駄に寿命が短くなるばかりです。山口県の個人のボランティアさんや林節子市議の要望に応え、今後山口光TNR一斉は定期開催することになります。

### 車椅子のパン

交通事故に遭った鹿のパンくんは断脚後は予後良好で、食欲もあるのでそろそろ立たせてみようかなと。反すう動物の場合、車椅子に乗せることによりどこまでお腹に負担がくるか…そこもよく見ないといけないので慎重に始めました。私は今までのパンくんの様子を見て、残っている3本の足も動かないんじゃないかな…と思っていました。予想通り動きはしないけど、



前足には予想以上のチカラが入っていました。それだけでぜんぜん嬉しい♪人間が与えたものも恐れず食べしてくれるので、それは大きな救いですね。やはり負傷した野生動物を保護する時は外科的処置をするよりも先に食べてくれるとこまで信頼関係を構築すべきですね。あれでも…って事が起きたらいけないので、車椅子ごと周りを囲みます。パンくんは1日に4時間程度車椅子で《立つ練習》と《筋肉復活リハビリ》を始める事にしました。

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングビングで寄付ができます。  
<https://japangiving.jp/supports/1281> 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

JAPANGIVING

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ  
<http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html>に掲載しております。

NPO法人(特定非営利活動法人)  
**犬猫みなしご救援隊**  
[www.minashigo.jp](http://www.minashigo.jp)

犬猫みなしご救援隊  
 〒731-0234  
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2  
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711